

THE JAPANESE JOURNAL FOR  
HISTORY OF PHARMACY

薬史学雑誌

Vol. 50, No. 2.

2015

—目 次—

原 著

明治中期における日本産薬用人参の対清輸出について……………童 徳琴……109

我が国において抗生物質医薬品の品質基準の果たした役割に関する薬史的・公衆衛生学的考察：  
第1報 抗生物質医薬品の発展……………八木澤守正, Patrick J. Foster, 黒川 達夫……119

我が国において抗生物質医薬品の品質基準の果たした役割に関する薬史的・公衆衛生学的考察：  
第2報 ペニシリン及びストレプトマイシンの国産化の達成  
……………八木澤守正, Patrick J. Foster, 黒川 達夫……131

日本薬局方に見られた向精神・神経薬の変遷（その16）JP V（1932）～JP X VI（2011）における  
プロモバレリル尿素の規格・試験法の変遷ならびにドイツ薬局方との対比について  
……………柳沢 清久……143

日本における輸血に関する知識の萌芽—江戸期医学書に見られる輸血の認知度—  
……………松田 利夫, 清水 勝……159

大分県に近代薬学を築いた人物 五十川徹夫の記録……………五位野政彦……165

Pharmaceutical Education in Japan—Past, Present—, and Human Social Pharmacy Education  
in the Near Future……………Jun Okuda……175

薬種問屋から製薬企業への発展—二代塩野義三郎と五代武田長兵衛—……………安士昌一郎……181

江戸末期の売薬「ホルトス」—その包装・効能書・剤形—……………野尻佳与子……196

THE JAPANESE SOCIETY FOR HISTORY OF PHARMACY

c/o CAPJ, 4-16, Yayoi 2-chome,  
Bunkyo-ku, Tokyo, 113-0032 Japan

薬史学誌
Jpn. J. History Pharm.

Indexed in Medline since 1980

日本薬史学会

<http://yakushi.umin.jp/>



